

備前市事務事業評価表

事務事業名	農業用施設維持管理事業(吉永)		コード	04-01-01-05
			担当課・係	吉永総合支所産業建設課管理係
			担当者	吉田正人
			電話	84-2513
事業実施期間				
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
	中項目(基本施策)	豊かな食を支えるまちづくり		
	小項目(施策)	農業(農業基盤の整備)		

事業について	
目的 (何のために)	農道、ため池、頭首工、用水路等農業基盤の管理及び整備を行うことにより、関係住民の安全と受益者の農作業の効率化を図る。
対象 (誰・何を対象に)	農家等受益者並びに水利施設下流住民。
内容	農業用基盤施設(農道、ため池等)の改修整備、維持補修等の実施。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など(単位)	18年度 回数など(単位)	回数など(単位)
農道管理等	1件	2件	
ため池管理等	1件	1件	
頭首工管理等	1件	2件	
用水路管理等	4件	4件	

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	1,432	国庫補助金等	2,004	直接事業費	1,425	国庫補助金等	
	人件費	2,200	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	3,632	一般財源等	3,632	合計	3,429	一般財源等	3,429
					合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.25人	0.15人	
結果指標名	施設修繕等件数	施設修繕等件数	
結果指標量	7	9	
単位	件	件	
対前年比		128.57%	0.00%
活動にかかるコスト	3,632,000円	3,340,000円	
単位当たりコスト	518,857円	371,111円	
結果指標名			
結果指標量			
単位			
対前年比	-		
活動にかかるコスト			
単位当たりコスト			

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	農業生産基盤の適正な維持管理を行い、災害の未然防止、又、最小に止めることにより、市民の生活安全を確保する。		
成果指標名	施設修繕等件数	式又は説明	維持管理のため目標値の設定はできない。
	17年度	18年度	
成果指標量	7	9	
対前年比	-	128.57%	0.00%
到達目標値		到達目標年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等:)	妥当性評価<A~E> B 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	農業生産基盤の適正な維持管理を行うとともに、災害を未然に防止、又、最小に止めるための事業であるが、市のみ危険箇所把握、維持管理等には限界があるため、地元関係者からの指摘、要望が重要であることから緊急性・必要性を考慮し事業を実施。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	コストの効率化 <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である 手段の最適化 <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	効率性評価<A~E> B 課題認識 工事等実施にあたっては受益者負担を求めるとともに、修繕等は見積徴収を行い事業実施。工事設計にあたっては契約管理課に審査を受けるなどコスト削減に努め適正な事業の執行により効率性を高める。	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B 課題認識
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	地元(受益者等)からの要望により、予算並びに緊急性等を鑑み妥当な事業から実施。場合によっては市のほうからの働きかけも必要である。
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 前年比70%の予算で適宜事業実施中。
目標値	結果指標量	結果指標量	

総合評価	農業用施設は本来の農業目的以外にも農道は生活道路。また水利施設は防火用水、洪水調整、砂防等多機能な要素も兼ね備えるなど重要な施設であるが、大半が集落の上流部に位置し、老朽・機能不足のため池は洪水時には非常に危険であり今後とも本事業による維持管理が必要である。	評価区分<A~E> B
------	---	-------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果